

# 北のわらしべ

発行元：社会福祉法人わらしべ会(北海道)

連絡先：〒065-0043

札幌市東区苗穂町3丁目2-35

TEL 011-776-7981 [法人本部]

《新年号》 令和5年2月4日発行

新年のご挨拶

## 余寒お見舞い申し上げます。

理事長 川本 明良

2023年2月

寒い日が続いています、お体ご自愛ください。



2023年新しい年わらしべ会も次年度に向けた準備や計画をはじめました。いよいよ「2025年問題」とも呼ばれ、75歳以上の後期高齢者の人口が800万人に達する超高齢化社会が2年後に迫っています。高齢者福祉制度と障がい者福祉制度は別のもので、障がいのある人の高齢化が進んでいることはもちろん、介護・支援するスタッフ確保問題は福祉分野の共通課題といえます。わらしべ会（北海道）は利用者高齢化の問題には65歳以上の方が通所を継続利用できるよう「共生型通所介護事業所」の認可を受けるなどの対応をはじめました。スタッフの確保についてはWeb媒体を活用した求人や人材斡旋業者との契約の他、外国人スタッフ採用の準備をはじめています。しかし残念ことに日本を選択しない外国人労働者の増加で、確保が以前より難しくなっていると聞きます。

福祉人材確保の問題はとても深刻な問題です。障がいのある人の高齢化・重度化で必要な支援の内容が年々、増えている例や、高齢の家族が障がいのある方を支援しなければならない状況の報告もあります。女性やシニアの介護系人材としての採用、介護を学ぶ学生の援助、定着促進のための施策などに加えて、ICT（情報通信技術）を活用した科学的介護による介護者の負担の軽減なども取り組まれているようですが、どれも大きな効果をあげているようにはみえません。事業を継続するために、スタッフ確保がどうしても必要となります。そのための直接的で効果的な方法はないように感じますが、私たち福祉現場が魅力ある職場を目指し、長く働ける環境を整えることが、今、求められているように感じます。

さて、今年も全国社会福祉協議会の「障がい者虐待防止マネージャー研修会」がWeb開催されます。児童、高齢者、障がい者などの虐待に関する報道が続いています。この研修では厚労省の専門官の講義や、障がい者虐待問題と向き合ってきた研修委員座長の講義の他、虐待防止に関する取り組みの報告など、虐待防止の課題を学習するととても良い機会です。これまで3年間この研修に参加して、虐待防止に向けた取り組みについて感じることもあります。「虐待防止制度や規程の学習」は必要なことですが、

それはあくまで表面的なものにすぎないということです。そのことで虐待が防止できるとはいえないように感じます。虐待や不適切な支援、それらを含む利用者支援について、一人一人の職員が自分たちの課題と受け止めることが重要です。また、ストレートに話ができる「風通しの良い」職場環境では、虐待に至る前に問題が解決できるという報告もありました。利用者の方と職員、職員と職員がお互いを尊重しあう基本的な姿勢や、それに向けた職場の風土改革が重要であると感じます。研修会や虐待防止に向けた多くの取り組みが「共に生きる社会」の前提として形になることを願っています。

2023年、本年も皆様のご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



(ICTやロボットスーツ/  
高齢化対策になるのか?)

## 福島原発事故処理水の海洋放出

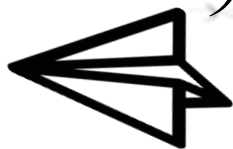
2011年の東日本大震災の際に

被害を受けた福島第1原子力発電所事故の冷却に用いた処理水を海洋に放出するという報道があります。トリチウムを除く放射性物質を取り除いた処理水であり、科学的に安全であることが確認されたとのことですが、このことを不安に感じるのは私だけではないようです。9月のある研修の際に、福島では青少年の甲状腺がんの発症が増加しているというお話を聴きました。このことについても福島原発事故との関連を肯定する研究者と、否定する研究者がいるとのことでした。「風評被害」が話題になることがありますが、処理水の放出が海産物の風評被害につながることも考えられます。



(いつまで続く福島原発事故の影響)

## 大滝だより



大滝わらしべ園

〒052-0313  
伊達市大滝区大成町10  
TEL 0142-68-6344  
FAX 0142-68-6345  
Mail waras@ootaki.tv



## 壮瞥町で果物狩り

大滝のお隣の町は、りんごやぶどうなどの果物で有名な壮瞥町があります。実りの秋！ということで9月中旬から10月にかけて3グループに分かれて、壮瞥町の果物狩りに行きました。みんな一緒に出かけることができず、少し残念でしたが、少人数の外出も楽しいものです。この時期はりんご、ぶどう、プルーンなどが実っており、果樹園に入るとテンションが上がり声を出したり体を揺らしたりする利用者さんもいました。ぶどう園に入り、職員がぶどうの場所を伝えると一生懸命手を伸ばしていつ方もいました。りんご園では皆一つずつりんごをもぎ取ることができました。職員が「切って食べよう」と伝えていたのですが、待ちきれずその場で丸かじりする人も。各自1個のりんごを採ったので食べきれるか心配だったのですが、皆様ぺろりと食べてしまいました。最後にプルーンを採りに行きました。プルーンは高い位置にあったため、職員が取ったものを手渡しました。プルーンはとても甘みが強く、みんな気に入ったのでしょうか？パクパクと召し上がっていました。帰る時間になっても利用者さん達はまだまだ食べたそう？外できれいな空気と果物を満



(ぶどうを収穫～)



(美味しくて丸かじり)



(おいしい果物がいっぱい！)喫し、気分転換もできた1日でした。

12月24日、25日にクリスマス会を行いました。1日目はゲームと食事会、2日目はケーキ作りを行いました。

1日目職員がツリーを飾っていると何か始まるのを察したのか皆すぐに集まってきました。クリスマスソングを流し皆で楽器を鳴らしていると…サンタさんがやってきました！サンタさんが持ってきた仮装用具を身に着け、クリスマス気分を盛り上げます。身に着けたものをすぐにとってしまう方も、気に入ってずっと着けている方も反応は様々でした。

その後はお菓子引きゲームを行いました。毛糸の先に焼き菓子をつけ、お菓子は見えないようにして毛糸を引っ張ってもらいました。お菓子がついていない外れのものも用意しました。やり方を理解すると我先にとやっていただけでした。毛糸の先にお菓子が付いているのを見つけると嬉しそうに笑ったり、食べたくなったのか「開けて」というように職員にお菓子を渡したりしていました。ほとんどの人が外れを引かなかったので、2回連続で外れを引いてしまった利用者様はショックを受けたような表情をしていました(お菓子が引けるまでチャレンジしてもらいました)。

そして昼食は特別メニューとしてピラフ、チキン、ツリー型マッシュポテト、スープ、チーズフォンデュ、フルーツ入りミルクプリンを用意しました。ワンプレートで普段と違う見た目だったので皆さま嬉しそうでした。チーズフォンデュではフォンデュの順番を待っている間にそのまま具材を食べようとする方が多かったです。かなりボリュームがあったのですが皆様あつという間に召し上がっていました。普段小食の方も完食しており満足していただけたようでした。

2日目には簡単なケーキ作りを行いました。器に入れたカステラに生クリームやチョコレート菓子、フルーツをトッピングして作りまし



(チーズを付けて

いただきます！)



(昼食は特別メニューでした)



(オリジナルケーキおいそ～)

トッピングしている最中に食べたくなり職員目を盗んでカステラを口に入れた方も…。チョコレート菓子を生クリームに挿すように乗せたり、皆様思い思いにトッピングしていました。出来上がったものはすぐに召し上がっていただいたのですが、職員の「おいしい？」の問いかけにもあまり反応してくれず黙々と食べておられました。

## 今後の予定

2月：そり遊び

3月：ひな祭り



# 浦河だより

浦河わらしべ園

〒057-0171  
 浦河郡浦河町西舎 124-1  
 TEL 0146-28-1801  
 FAX 0146-28-1991  
 Mail urakawa-warashibe@deluxe.ocn.ne.jp



**待ちに待った特別外出** 10月から11月には特別外出を行いました。ここ数年はコロナ感染症対策のため町内又は日高管内のみの実施とはなりましたが、お買い物や外食を利用者さんのご希望に添えるよう内容を検討し行いました。利用者さんは待ちに待った外出であったため、「あれが欲しいから買おう。」や「何食べようかな？」など出発日を楽しみにされていました。外出先では時間いっぱい使ってお買い物をして美味しいものを食べ帰りの車の中で一休みして、園に帰ってきたらお土産話に花をさかせていました。



(何買おうかな～)

12月3日に浦河高校吹奏楽局をお招きして演奏会を行いました。オープニングに「恋人はサンタクロース」が演奏され一緒に歌っている方もおられました。次曲の「学園天国」では演奏と一緒に利用者の皆さんに持ってもらった鈴と掛け声で盛り上がり、「昭和歌謡曲メドレー」では涙を流される利用者さんもいらっしゃいました。最後の曲目を終わるとアンコールの声があがり、吹奏楽局の皆さんと利用者さんの手持ちの鈴とで合奏し「ジングルベル」を一緒に演奏しました。吹奏楽局の皆さんが帰るときには「また来てね」と声をかけられていました。



**クリスマス会／レクあれこれ** 10日のクリスマス会では皆さんからのご要望にお応えし、以前もご来園いただいたことのある何ん田研二さんのものまねショーを開催しました。ショーの前には皆で「GBT体操」を行い、固まった体を思いっきり動かしました。顔と体と心の緊張がほぐれたところでショーがスタートです。皆様いつもより大きな声で歓声を上げてショーを楽しまれていました。クリスマス会ではそのほか雑学クイズや写真撮影会を行いました。デザートには浦河町のケーキ屋さん「ラピラータ」のショートケーキやチョコケーキ、プリン等を召し上がっていただきました。



また、季節ごとに様々なレクレーションを実施しています。焼き芋レクでは甘くホクホクの焼き芋に皆さん笑顔で召し上がっていました。ハロウィンレクではモグラたたきならぬお化け叩きゲームを行いました。腕を思いっきり振り上げ素早い動きで職員を圧倒していました。クリスマスツリーの飾りつけも

利用者様と一緒にりましたが、皆さん一生懸命腕を伸ばしてバランスよく飾りつけをしており、3, 2, 1の掛け声でツリーを点灯した時は喝采があがりました。冬至の日にはゆず湯に入りポカポカの身体にかぼちゃ団子入りのお汁粉でほっこりされていました。



(かぼちゃ団子おいしいー)



(えいっ！)

**今後の予定** 3月1日の寿司バイキングに向け札幌海鮮丸様とネタの内容を打合せ中です。3月下旬には健康祈願祭を行う予定です。



## 札幌わらしべ園

## 東区・苗穂第二事業所

東区事業所  
〒065-0042  
札幌市東区本町2条6丁目4-1  
Tel 011-783-0606(1階)  
011-790-8130(2階)  
FAX 011-790-6572(共通)  
Mail sawarasibe@cyber.ocn.ne.jp(1階)  
Whshuuru01@yahoo.co.jp(2階)

苗穂第二事業所  
〒065-0043  
札幌市東区苗穂町3丁目2-35  
Tel 011-776-7981  
FAX 011-776-7982  
Mail naebojimu@hotmail.com

**冬本番を迎えて** 北海道では厳冬期を迎え降雪量が増える時期となってきました。この季節は降雪によって道幅が狭くなったり、ワダチや凍結などで路面状況が悪化すると渋滞やスタックが発生し利用者様の送迎に大きな影響を与えることがあります。もちろん送迎だけではなく除雪に時間を割かれたり、職員の通勤に際しても影響がでできます。その日の天候によっては生活介護の開始時間が遅れることもあります。自然相手のことで人の力ではどうにもならないことかもしれませんが、特別警報が発令された際の対応や送迎時のアクシデントに備えて車内にはスコップや牽引ロープ、毛布などを準備しておく必要もあります。

またここ近年各地で雪害による被害がテレビなどで報道されることが多く見受けられるようになりました。こうした背景からもこれまで実施してきた火災や地震、水害の際の避難訓練に加えて、雪害によって想定される避難訓練や食料やストーブ（電気式ではない）の確保などの準備を進めて災害に備えて参ります。悪条件が続く冬期間では時間を要してでも路面状況に応じた安全運転を行い事故なく利用者の皆様が来所していただけるように心がけていきたいと思ひます。



(今年も冬が来ました)

### ☺東区事業所ハロウィン&クリスマス会☺

東区事業所では10月にハロウィンパーティを行いました。午前中は皆さんで事業所内をハロウィン仕様に飾り付けました。とても可愛らしく飾り付けをすることができました。昼食はピザを注文するなどイベント食を提供しました。皆さん、とても美味しそうに召し上がっていました(^)。午後からはハロウィンレクを行い、プレゼントをお渡しして、大盛況のもと終わることができました。

12月に入ると、雪が積もってきたため、スキーウェアを着てもらい外活動にも取り組んでいます。雪の上で寝そべったり、雪をかき集めたり、そり滑りをして楽しんでますよ。



(プレゼント!)

12月の下旬にはクリスマスレクを行いました。今回は「プレゼント探しゲーム」で楽しみました。事業所内の至る所にプレゼントを隠しておき、皆さんと一緒に探しました。プレゼントの中身は、お菓子を用意しました。レクが終わってから皆さんに食べていただきましたが、とても美味しそうに召し上がっていました。

昨年は法人内での異動がありました。利用者様におかれましては、最初こそ若干の戸惑いがあったようでしたが、今ではすっかり慣れて日々の生活を楽しまれているご様子です。



(うれしい~)

## 年末句会/大阪わらしべ会「わらしべ歌合戦」に参加!!

苗穂事業所では12月22日に12月の句会を行いました。「12月」をテーマに皆さんたくさんの俳句を詠んでくれました。これから作品が増えると発表する機をもちたいと話しています。「鈴の音 皆わくわく クリスマス」「イブの夜聞こえてくるよ ラブソング」「12月 年末来るぞ 紅白だ」「大晦日 今年も来るぞ 蕎麦食べて」などクリスマスやお正月をイメージさせる俳句を皆さんで考えてくれました。「年末は紅白?格闘技?」「お餅食べたいなー」「クリスマス楽しみだね!」など楽しい話題でいっぱい12月の句会でした。



(きれいに作ってます)



(完成!)

苗穂事業所ではもう一つ大イベントがありました。大阪のわらしべ会が企画する「わらしべ歌合戦」に初参加しました。6ページの「クローズアップこの活動」にてご紹介いたします。





# 札幌わらしべ園 苗穂第一事業所

苗穂第一事業所

〒065-0043

札幌市東区苗穂町3丁目2-37

Tel 011-792-6806

FAX 011-792-6807

Mailsawarasibe@cotton.ocn.ne.jp

**成果を披露！！クリスマス会** 12月26日にクリスマス会を行いました。クリスマス仕様のペーパークラフトやぬりえを用意し、皆さんで塗ったり、組み立てることで装飾を行いました。クリスマスアートも作成し、キャラクターの周りは折り紙で雪の結晶を作り、飾り付けました。利用者の方から以前寄贈していただいたクリスマスツリーも飾り、クリスマスを迎える準備を整えました。またクリスマス会に向け、秘密の練習を進められている方もいらっしゃいました。当日はオープニングとして音楽を中心として活動を行いました。まずはこの日のために秘密裏に準備を進められていたドラムの演奏からスタートです。曲に合わせて足を使い、器用にドラムを演奏されていました。次はよさこいの演武を行いました。コロナ禍で長らく延期されていたよさこいチームの再開が予告され、次の夏に向け練習を重ねて



(ドラム演奏しています)



いたよさこいの成果を、少し早いですがクリスマス会で披露されていました。振付の動画を再生しながら他の利用者の方も一緒となって踊られていました。そのあとはミニカラオケを行いました。テレビでそれぞれ好きな曲を再生し、音楽に合わせて各々が好きな曲を歌われていました。歌っていない方は手拍子でリズムをとられていました。最近の曲から懐かしの曲まで様々な曲で皆さん盛り上がっていました。

カラオケを終えるとレクリエーションを開始しました。今回は手作りボーリングと射的を行いました。ボーリングではサンタやクリスマスツリーのデザインが施されたピンを用意しました。ピンにはそれぞれ得点が入っており、2投し、倒れたピンの合計点数で競いました。ピンには色水が入っており、倒すのにはひと工夫が必要で、苦戦されている方もいらっしゃいました。それでもストライクやスペアが出ると歓声が沸いていました。射的ではツリーのイラストが入った的を射的用の銃で狙って倒すゲームをしました。こちらも点数がそれぞれ決まっています。倒した的によって点数がもらえる仕組みです。

夏まつりやハロウィンでも射的を行ってきたため、皆さんも慣れてきており、過去最高に白熱した点数争いになりました。「すごい、当たった!」、「惜しい!」と盛り上がっていました。



(さあ転がして)



(よく狙って)

そして2つのレクリエーションが終わった後に結果発表を行いました。ボーリングの1位と射的の1、2位が発表され、表彰者には拍手が送られました。そしてクリスマス会が終わりを迎える…というタイミングでサンタさんが登場しました。サンタさんから皆さんへプレゼントが配られ、レクリエーションでの表彰者は少しリッチなプレゼントがサンタさんからプレゼントされました。皆さんサンタさんの登場に大興奮でした。喜びが静まらぬまま、全員とサンタさんで記念撮影を行いました。全員で写真を取り、後日2023年のカレンダーを作りました。

苗穂第一事業所として新たに稼働し、あっという間に過ぎた半年でしたが、皆さんで思い出に残る1日1日を過ごしていただき、「良かった」と思う年の瀬でした。



(得意の曲で♪)



(プレゼントうれしい～)



(全員で記念撮影📷)

## 職員紹介



氏名： こいえ 和也 かずや  
 出身地：室蘭市  
 趣味：ゲーム、音楽  
 特技：ドラム、パーカッション等演奏  
 2年目 生活支援員

勤続2年目になります、小家和也です。介護経験はなく、資格のみでこの仕事を始めました。私は利用者の方の普段の生活では得られない知識やアイデア、考えなどを共有、提案することにより、皆さんの納得、満足できる生活を目指しています。利用者の方を日々笑顔にして、私も一緒に笑って過ごすことにとってもやりがいを感じています。コロナが徐々に収まりつつある今日、コロナ流行前のイベントや活動の中での皆さんの姿が楽しみです。



# クローズアップこの活動

## 大阪わらしべ会「わらしべ歌合戦」に参加!!

12月のある日、苗穂第二事業所では大イベントがありました。大阪のわらしべ会の方が企画する「わらしべ歌合戦」に初参加することになったのです。Webを繋ぎzoom機能を使いそれぞれの事業所で催し物を発表する楽しい企画です。初参加という事で曲はどうしよう…。皆で相談しました。ドリフターズ世代が多い事業所ですから「いい湯だな」の曲を選曲。日頃の音楽活動でも皆が大好きな曲を選びました。曲に合わせたダンスの振付やフォーメーション。装飾にもこだわり創作と芸術の時間で巨大手形ツリーのポスターの制作にも取り組みました。小道具の桶やポンポンも皆さんで協力して作りました。

まずは歌詞を確認して歌を歌う練習から始まり、それぞれ自分の役割をしっかりと覚えて曲に合わせて振付。「…でも全体の動きが合わない」「歌詞なんだっけ?」「緊張して転んじゃった」「振付間違った!」ハプニング続きの練習の日々(笑)。本番前の1週間は毎日練習し皆さんで12月23日に行われたわらしべ歌合戦に挑みました!本番は北海道ならではの本物の雪だるまも装飾として飾りました。



(いい湯だな〜♪)



(がんばれ〜)

歌合戦当日、札幌市内の天気は大雪でした。大雪の札幌から、いざ、本番! 皆さんも緊張しつつ練習の成果を発揮し、笑顔で元気に「いい湯だな」の曲に合わせて楽しく歌合戦に参加しておられました!同時に他の大阪わらしべ会各事業所の発表を見ることもできました。知っている歌やダンスがはじまると一緒に踊ったりポンポンを振り応援したりと、画面に写る大阪の皆さんの姿にみんな笑顔になりました。とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。審査員の方からは「団結力があって良かったです!」と評価していただき「練習してきた甲斐があったね!」「頑張ったね!」と皆さんで感想を述べあいながら達成感を味わいました(^)週末明けの27日にはささやかながらクリスマス会も行い、皆さん、クリスマスプレゼントをもらい嬉しそうな様子でした。

苗穂事業所第二事業所は今年も無事に一年を終えることが出来ました。また来年も健康第一に元気で楽しい事業所を目指し、利用者の皆さんと過ごせたらと思います。



## 通信

### グループホーム

### シェアハウス

#### グループホーム

#### シェアハウス

各事業所ではクリスマスイベントを実施しておりますが、クリスマス時期にはそれぞれのグループホームやシェアハウスにおいても飾りつけをしたり、特別の食事を提供しました。



(みんなで飾り付けます) (クリスマスお楽しみ)

東苗穂グループホームでは24日のクリスマスイブにミニツリーの飾り付けを利用者様と一緒に行いました。

25日のクリスマスでは、たこ焼きパーティーを行いました。『たこ焼き作るの初めてだよ!』『久々にやるわー!』など皆さん喜ばれておりました。生地を混ぜたり、生地や具材を入れたりする作業を皆で行いました。生地が焼けるまで、クリスマスの思い出などの話していました。生地をひっくり返す作業では、『ひっくり返らないよ?』『どうやるの?』『難しい』など皆さん苦戦しながらも一生懸命に行っていました。



(上手に焼けるかな?)

夕食では、皆さんと作ったたこ焼きとグラタンやピラフなどの料理を提供し、皆様美味しく召し上がっていました。食後には、苺のショートケーキを食べ、クリスマスを楽しみました。



## わらしべ会創設者村井正直先生・陽子先生13回忌

## 北海道法人・大阪法人職員交流研修会



2022年12月15日-16日；大阪法人職員の北海道法人訪問に続いて、北海道法人より8名が大阪法人を訪問し、交流研修会を開催しました。大阪辻理事長およびスタッフによる講演やグループディスカッションの他、事業見学も実施しました。創設者お二人への黙祷、散骨地墓参を行い本年度の交流を終えました。

## 2022年を振り返って

新しい年がはじまり、わらしべ会も次年度に向けた準備や計画をはじめました。年末には利用者の皆さんと、一年を振り返ることが恒例になっています。ウクライナの戦争や安倍元総理が亡くなったこと、ワールドカップでの日本チームの活躍、降雪が多くて大変だったこと、冬季オリンピックは今年だったかな、などみんなで記憶をたどりながらその年にあったことを思い出すのですが、どの年の出来事かが不確かになっていることも多くあります。2022年は世界でも日本でも、特に変化の多い1年だったと感じます。個人的な1年の変化を話してくれる方もいましたが... なぜでしょうか？振り返りの中でコロナ感染について発言する方が誰もいません。わらしべ会(北海道)の施設やグループホームでもクラスターが発生し、対応に追われました。利用者の皆さんにはご不便をおかけすることになりました。このことが真っ先に話題になると思っていましたが、意外でした。コロナ感染が3年におよぶと2022年の出来事というより、すでに私たちの「日常」になってしまっているのかも知れません。感染症分類が2類から5類に変更されるという話も聞きますが、どちらにしても福祉関連事業所ではコロナ感染の予防や感染拡大防止対応が求められる状況が続くことに変化はありません。



## ハンガリー クリスマス料理

わらしべ会は東欧のハンガリーのペトゥ研究所と関係が続けてきたことを、紙面で何度かお伝えしてきました。ハンガリーのクリスマス家庭料理の代表の一つに「ハラスレー」と呼ばれる魚のスープ(写真)があります。鯉やナマズを使いパプリカ・塩・玉ねぎで味付けしたシンプルなスープです。日本人の口にととても合います。クリスマスの(ハラスレー/魚のスープ)時期、市場の魚屋さんだけでなく、肉屋さんでも鯉を売っていることもあります。



## ハンガリー 正月料理

年末年始はお店にソーセージが豊富に並びます。ハンガリーで一般的に正月に食べるものといえば、豚肉とレンズ豆が多いようです。知人に「コチョニャ」と呼ばれる冷えた豚のにこごり料理(写真)をご馳走になったことがあります。豚の足や耳、しっぽが材料です。これにパプリカをかけて、パンと食べるのが定番です。家庭料理ですがブダペスト(コチョニャ/豚のにこごり)のレストランのメニューで見かけたこともあります。



## この本あります！「フィロミナの詩がきこえる」 中澤健・中澤和代 著

この本の表紙には「マレーシアで二十五年 平和と福祉を考える」というサブタイトルが記されています。長年、障がい者福祉に取り組んでこられた、著者のお二人が活動の舞台をマレーシアに移し、新たな活動に取り組む様子が目に浮かぶような記述に触れることができます。どうしてマレーシア？ボルネオ？この本を読むうち、そんな疑問はどこかに飛んでしまいます。日本人からすると何も無い厳しい生活の中で、お互いに助け合い共生する姿から、マレーシアであることが著者にとっては必要な条件だったのかも知れないとも感じます。ところで本の表題「フェロミナ」とは、この本で紹介されている言葉を話すことが困難な少女の名前です。みんなに共感をもたらす素晴らしい存在として描かれています。





お 知 ら せ

❁ ありがとうございます ❁

順不同にてご紹介

ご寄附・ご寄贈頂きました。

女池 好子 様                      高橋 節子 様  
 谷口 貢 様                        奥田 管理 様  
 室蘭建設業協会 様              日高建設協会 様

皆様のご支援に感謝申し上げます。

わらしべ地域食堂 再開の予定

長期間休止してきました

「わらしべ地域食堂」

ゴールデンウィークに再開の予定です。

後日、日程はチラシにて

お知らせします。

一昨年前より新年のご挨拶を北のわらしべで申し上げておりましたが、今年は事情により新年のご挨拶を失礼させて頂きました。

\* 行事表 \*

大 滝		浦 河		札 幌		法 人		
1 月	未定	雪像作り	18 日	新年会 (中止)	4 日	通所事業所／新年再開	1 9 日	高校卒業者 採用取材
					7 日	土曜営業日		
					14 日	土曜営業日		
					21 日	土曜営業日		
2 月	未定	そり遊び	3 日	節分レク レーション	3 日	節分祭	7 日	法人運営者会議
			17 日	浦河警察署 署長による 実演そば 打ち	未定	レクレーションの日		
3 月	未定	ひなまつり	1 日	寿司バイ キング (海鮮丸)	3 日	ひな祭り	24 日	理事会 (Web) 予定
			3 日	桃の節句 レクレー ション	31 日	1 年振り返り	下旬	評議会 (書面) 予定
			下旬	健康祈願祭				

編集後記

2023年、新年のご挨拶を失礼させて頂きました。

令和4年度も残りあと2か月となりました。これから新年に向けてあわただしい期間です。昨年、わらしべ会各施設・事業所でもコロナ感染クラストが発生しました。とても大変な非常時の対応となりましたが、スタッフの頑張りのおかげで収束となりました。職員の忍耐と頑張りに感謝しています。



感染症5類への見直しも予定されているようですが、クラスター時を思い返して不安を感じます。皆さま引き続き、コロナ感染にご注意ください。

編集職員一同